

Genuine Parts Racing category 7

**OHV, FivePort, Subframe, Rubbercone
Tiresize, Capacity, Weight**

Important 7 items

2019_02_01

第1条 競技会に参加できる車両

- 1.ミニ量産品
- 2.シルエットを合わせる為Genuine Parts Racing category 7（以下G P R c 7と略）指定のオーバーフェンダー・ゼッケンサークル・フロントスクリーンシェイドを取り付けた車両

第2条 参加車両の安全規定（安全上の義務付けられる事項）

1.ロールケージ

- ①6点式以上のロールケージの装着が義務付けられる。スチール製引抜鋼管。
メインロールバーの曲げ部、又は溶接部から100mm以上離れた箇所に直径4mmの穴をあけその位置を黄ペイントで明示する事。
- ②運転席側にサイドバーを取り付けなければならない。
* サイドバーは、ドア開口部の1/3より高い位置であってはならない。
- ③各支柱側の車体への取り付け板は、面積60cm²・板厚2.5mm以上を有する事。
* この取付板は、支柱に溶接されていなければならない。

2.ロールケージ取り付け

- ①ロールケージ取り付け位置には補強板を車室内もしくは、車室外に付ける事。
* 車室内に補強板を設ける場合は補強板を車体に溶接する事。
- ②ロールケージの取り付け板を直径8mm以上（4 t 以上）のボルトを3本以上使用し緩み止め効果のあるナット（ワッシャ・セルフロックング）で支柱の周辺に分散して取り付ける事。

3.座席

リアフロアは2mm以上の鉄板で強化する事。
交換時のシート（レールを含む）の固定は座席の前部2箇所、後部2箇所の4箇所の支柱で安全が保てるように固定する。8mm以上のボルトを使用する事。

4.安全ベルト

ハンス義務。安全ベルトはターンバックル式フルハーネスタイプ5点以上のものを取り付けなければならない。
その材質・取付方法等は、J A Fシートベルト指導要項に準ずること。（プッシュバックル式は禁止）

5.燃料タンク

- ①燃料タンクは、安全タンクの使用を義務付ける。
* エア抜きにロールオーバーバルブの取り付け義務。（G P R c 7指定 キノクニ R C 6001 S）
* 安全タンクの取り付けに伴うリヤトランク床の加工は許されるが、スペアタイヤ格納部分の床面より上に設置されていること。但し、ボディ同一素材で溶接加工する事。

6.エンジンルーム

ダッシュクロスメンバー下（運転席）に補強板を取り付け8mm以上のボルトを使用しなければならない。
* G P R c 7が用意したプレートの取り付けが義務。

7.最低地上高

車両のひとつの側面のすべてのタイヤの空気が抜けた場合であっても車両のいかなる部分も地表に接してはならない。

8.フロア・マット

フロア・マットは取り外すこと。

9.タイヤ

タイヤは地表以外のいかなる部分と接触してはならない。

10.ウインド・シールド

- ①前面ガラスは合わせガラスでなければならない。
- ②上端からガラス面に沿って10 c mの幅で幻惑防止処置を施すことは許される。

11.排気系と消音器

- ①排気は後方排気とし排気口の位置は燃料タンクの後方で最大高45 c m最低高10 c mとする。なお熱を帯びた排気管によって損傷を生じないように適切な防熱処置を講じなければならない。
- ②排気ガスは、排気系の末端からのみ排出する事。
- ③シャーシの部分を排気ガスの排出のために使用する事は許されない。
* 排気音量規制
- ④参加車両の最大音量は測定距離3mの場合105dB以下とする。

12.オイル・キャッチ装置

ミニ競技車両すべてに、オイルキャッチタンクの装着を義務付ける。
オイルがコースに流出することを防ぐために確実な装置を備えなければならない。
装置材質は、ペットボトルやオイル缶などの暫定的なものであってはならない。
取付方法は、針金やテープなどによる暫定的なものであってはならない。
この容器にはオイルの量を確認できる透明な窓を備えなければならない。
* 容積について 2 L 以上

13.車室

車室はエンジンルーム・ガソリタンク・オイルタンク・ギアボックス・ドライブシャフト・バッテリー・配管の継目から完全に隔離されていなければならない。

14.サーキットブレーカー（主電源回路側閉鎖装置）

運転席からと車外から操作できる、すべての回路を遮断する各々の孤立したサーキットブレーカーを装着し、確実にエンジンを停止することができること。
その場所は、外部から容易に発見できる位置とし、赤色のスパークを底辺が最小12 c mの青色の三角形で囲んだ記号で表示する事。
サーキットブレーカー車外操作部はフロントウインドシールド支持枠の下方付近である事。

15.消火装置

内容量1.5 k g 以上の乾性の化学消化器、又はそれと同等以上の能力を有する消化器を、速やかに操作できる状態で車室内に搭載しなければならない。

16.けん引用穴あきブラケット

前後装着、義務付け。ベルトタイプ可。
車両をけん引して移動するのに取り付け部分も含め十分な強度を有し、砂地に停車した時でも使用可能な位置に取り付けられなければならない。けん引穴あきブラケットは下記の条件を満たすこと。

- ①最小内径50mm
- ②内径の角部はRを付けて滑らかにする事。
- ③金属板製の場合、最小断面積1cm²以上（取付も含む）
- ④金属製丸棒の場合は最小直径10φ以上。
- ⑤黄色、オレンジ色あるいは赤色に塗装されていること。
- ⑥リアのけん引フックも十分な強度で取り付けする事。
- ⑦トーイングストラップ可

17.駐車ブレーキ

駐車ブレーキ装置は左右同時に作動する事。

18.配管及び配線

全ての配管・配線は暫定的なものであってはならず、グロメット・コネクター・クランプなどを含め十分安全性の高いものにしなければならない。

19.ライト

ライト類のガラスは飛散防止対策をすること。

20.ファスナー（締め金具）の追加

フロント及びリアボンネットトランクリッドには少なくとも2個のファスナーを取付、もとの締め金具が作動しないようにすること。

21.内張り

天井の内張りは取り外さなければならない。ドア内張りは必要。

22.燃料

ガソリンに添加物を混入することは禁止する。

23.安全でない車両

改造および付加物取付などにより技術委員長が安全でないと判断した場合、その指示に従わなければならない。